



2022年10月18日

各 位

会 社 名 九州電力株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 池辺 和弘
(コード：9508 東証プライム、福証)
問合せ先 原子力発電本部 原子力企画グループ長 竹添 卓英
TEL. (092)761-3031

玄海原子力発電所3，4号機 特定重大事故等対処施設設置工事に関するお知らせ（使用開始時期の前倒し）

当社は、玄海原子力発電所3，4号機の特定重大事故等対処施設に関して、2022年3月30日付で開示した「玄海原子力発電所3，4号機特定重大事故等対処施設 設置工事に関するお知らせ（工期の延長）」において、3号機は2023年1月、4号機は2023年2月に使用開始予定であること等を開示しておりましたが、設置工事について安全確保を最優先に工事を着実に進めており、現在の進捗や定期検査の状況を踏まえ、3号機の使用開始予定を2022年12月に前倒しすることを本日決定しましたので、お知らせします。

記

1. 使用開始時期の前倒しの内容

	変更前	変更後
3号機	2023年1月に使用開始予定	2022年12月に使用開始予定
4号機	2023年2月に使用開始予定	変更なし

特定重大事故等対処施設の完成後、発電所の起動準備を経て、発電を再開します。

※ 特定重大事故等対処施設の設置期限 3号機：2022年8月24日
4号機：2022年9月13日

(参 考)

○ 特定重大事故等対処施設設置工事（3号炉及び4号炉）の理由

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第43条の3の6第1項第4号の規定に基づき、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」第42条で設置を定められているため。

○ 特定重大事故等対処施設設置工事（3号炉及び4号炉）の内容

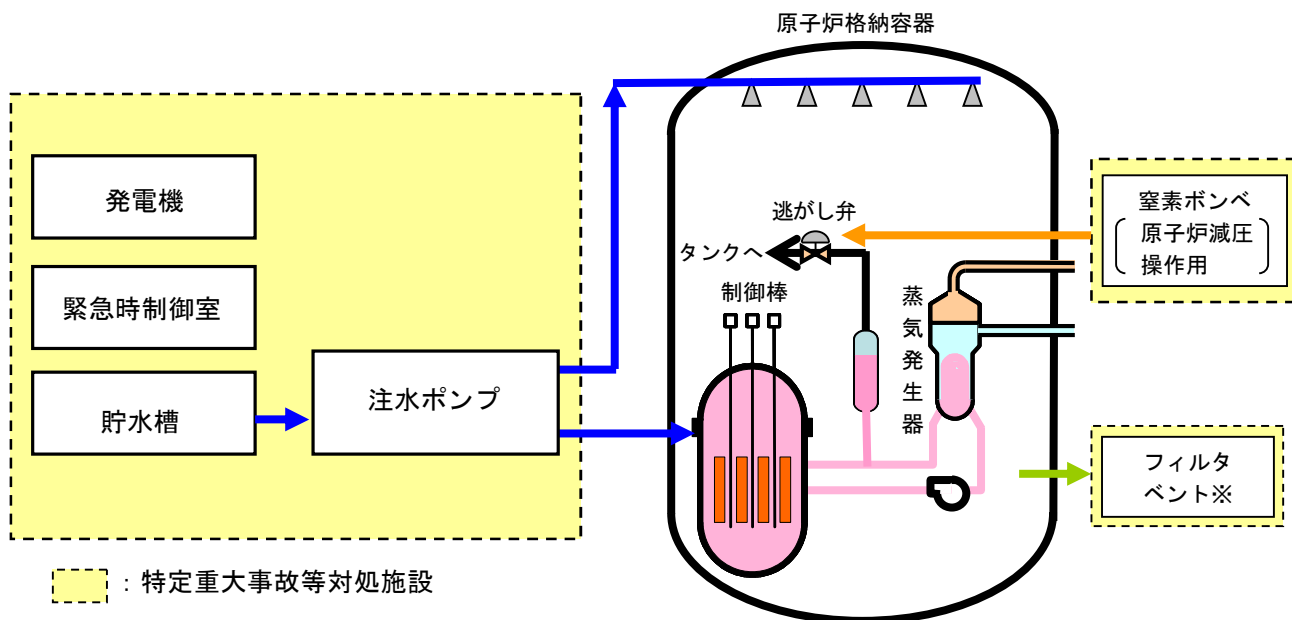
- (1) 所 在 地：佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
- (2) 固定資産の取得価額：約2,400億円
- (3) 施 設 概 要：(別紙参照)
 - ①貯水槽及び注水ポンプ
 - ②フィルタベント
 - ③窒素ボンベ（原子炉減圧操作用）
 - ④発電機
 - ⑤緊急時制御室

2. 今後の見通し

今後も、計画通り完成できるよう、設置工事に取り組んでいきます。

なお、業績への影響等、開示すべき事項が判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上



特定重大事故等対処施設の概要図

※フィルタベント

原子炉格納容器内の圧力が異常に上昇した場合、原子炉格納容器の損傷を防止するため、その内部の蒸気を放出（ベント）し、圧力を低減するとともに、大気中に放出される放射性物質を低減させる装置